

個人戦

新基準による平成30年度の各支部出場人数(案)

(1) ■ ÷ (2) ■ × (3) ■ = (4) 支部割当率 ■ <四捨五入>

【女子】

(制)・・・出場数制限ありの支部

	札幌(制)	函館	室蘭	小樽	空知	旭川	名寄	北見(制)	十勝	釧根	総計	全道出場数
H27支部参加チーム数	27	6	11	6	11	8	2	14	11	6	102	45
H28支部参加チーム数	27	6	11	4	10	6	2	14	7	4	91	
H29支部参加チーム数	27	6	11	4	10	7	2	14	7	4	92	
過去3年平均参加チーム数	27.0	6.0	11.0	4.7	10.3	7.0	2.0	14.0	8.3	4.7	95.0	
過去3年平均参加チーム数×8	216	48	88	37	83	56	16	112	67	37	760	A
H27支部参加実人数	325	97	78	45	67	76	22	94	60	41	905	
H28支部参加実人数	327	89	71	34	63	79	11	98	61	41	874	
H29支部参加実人数	332	88	88	28	59	49	15	106	73	44	882	
過去3年平均参加実人数	328	91	79	36	63	68	16	99	65	42	887	B
基準人数	219	75	79	46	65	73	22	112	61	41	793	(札幌・北見はA, 他支部はBを採用)
各支部の参加率	27.62%	9.46%	9.96%	5.80%	8.20%	9.21%	2.77%	14.12%	7.69%	5.17%		
各支部の割当数	12.43	4.26	4.48	2.61	3.69	4.14	1.25	6.36	3.46	2.33		小数点第1位を 四捨五入
基準枠	13	4	4	3	4	4	1	6	3	2		44
調整枠	-1	1	1					1	1	1		4
平成30年度出場人数	12	5	5	3	4	4	1	7	4	3		48
H29出場人数	12	5	5	3	4	4	1	7	4	3		48

※支部大会に参加人数の制限を設けているのは札幌支部(15名)・北見支部(8名)のみである。

道高体連の基準では、参加チーム数×最も厳しい人数制限(弓道の場合北見の8名)[A]を参加率計算の基準としているが、

弓道の場合は実態に合わないので参加実人数[B]を基準とする。ただし、札幌と北見支部だけは見なし参加人数[A]を採用する。

というのは、札幌の場合実人数では割当数が多くなりすぎ、北見は実態より少なくなってしまうからである。

※1支部から全道大会に出場できる人数を最大12名に制限している。